

様式1

令和6年度 山口県立岩国総合高等学校 学校評価書 校長(藤山 浩一郎)

1 スクール・ミッション、学校教育目標
生徒一人ひとりの個性や可能性を生かす、選択幅の広い教育やキャリア教育を行い、地域における高校教育の個性化・多様化のニーズに応えるとともに、地域・社会や地元企業等と連携・協働した課題解決型学習を通して、他者と協働しながらこれからの地域・社会に貢献できる人材を育成する。

2 スクール・ポリシー						
<table border="1"> <tr> <td>グラデュエーション・ポリシー (育成をめざす資質・能力に関する方針)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域・社会の課題に対して、自ら学び、考え、表現することを通して、時代の変化に対応する力を育成します。</li> <li>○ 一人ひとりが自己のよさや可能性を認識し、生涯にわたり学び続ける力を育成します。</li> <li>○ 多様性を尊重し、他者とともに課題解決に向けて協働し、行動する力を育成します。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の幅広いニーズに対応し、地域・社会と連携した総合学科としての特色ある教育活動を行います。</li> <li>○ 幅広い選択科目を設定するとともに、体験的・探究的学習を通して、自己の在り方・生き方や進路について考えを深める機会を提供します。</li> <li>○ 一人ひとりの個性を活かし、対話的な学びを通して、多様な考え方に触れる機会を提供します。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合学科の特色に興味・関心をもち、基礎学力を身に付け、礼儀正しく、社会や学校のルールを守ることができる生徒を募集します。</li> <li>○ 総合学科での幅広い学習に意欲的に取り組むことで、自己の個性や能力を伸ばし、夢や希望の実現に向けて積極的に努力する生徒を募集します。</li> </ul> </td> </tr> </table>	グラデュエーション・ポリシー (育成をめざす資質・能力に関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域・社会の課題に対して、自ら学び、考え、表現することを通して、時代の変化に対応する力を育成します。</li> <li>○ 一人ひとりが自己のよさや可能性を認識し、生涯にわたり学び続ける力を育成します。</li> <li>○ 多様性を尊重し、他者とともに課題解決に向けて協働し、行動する力を育成します。</li> </ul>	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の幅広いニーズに対応し、地域・社会と連携した総合学科としての特色ある教育活動を行います。</li> <li>○ 幅広い選択科目を設定するとともに、体験的・探究的学習を通して、自己の在り方・生き方や進路について考えを深める機会を提供します。</li> <li>○ 一人ひとりの個性を活かし、対話的な学びを通して、多様な考え方に触れる機会を提供します。</li> </ul>	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合学科の特色に興味・関心をもち、基礎学力を身に付け、礼儀正しく、社会や学校のルールを守ることができる生徒を募集します。</li> <li>○ 総合学科での幅広い学習に意欲的に取り組むことで、自己の個性や能力を伸ばし、夢や希望の実現に向けて積極的に努力する生徒を募集します。</li> </ul>
グラデュエーション・ポリシー (育成をめざす資質・能力に関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域・社会の課題に対して、自ら学び、考え、表現することを通して、時代の変化に対応する力を育成します。</li> <li>○ 一人ひとりが自己のよさや可能性を認識し、生涯にわたり学び続ける力を育成します。</li> <li>○ 多様性を尊重し、他者とともに課題解決に向けて協働し、行動する力を育成します。</li> </ul>					
カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の幅広いニーズに対応し、地域・社会と連携した総合学科としての特色ある教育活動を行います。</li> <li>○ 幅広い選択科目を設定するとともに、体験的・探究的学習を通して、自己の在り方・生き方や進路について考えを深める機会を提供します。</li> <li>○ 一人ひとりの個性を活かし、対話的な学びを通して、多様な考え方に触れる機会を提供します。</li> </ul>					
アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合学科の特色に興味・関心をもち、基礎学力を身に付け、礼儀正しく、社会や学校のルールを守ることができる生徒を募集します。</li> <li>○ 総合学科での幅広い学習に意欲的に取り組むことで、自己の個性や能力を伸ばし、夢や希望の実現に向けて積極的に努力する生徒を募集します。</li> </ul>					

3 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)
<p><b>【学習指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「わかる授業」の実現に向けて、各種校内委員会や授業研究を実施し、評価や学習指導の充実に取り組む。</li> <li>○総合学科としての特色を生かしつつ、体験的・探究的学習の機会を通して、自ら学び、考える力を育成する。</li> </ul> <p><b>【特別活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域・社会に貢献できる人材の育成のために、学校運営協議会、CSサポーターを活用し、地域・社会や地元企業等と連携・協働した地域連携教育の充実を図る。</li> </ul> <p><b>【学校運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な情報にアクセスしやすいホームページ作りに取り組み、本校の特色や魅力を積極的に発信する。</li> </ul> <p><b>【生徒指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の自己有用感や社会性の育成に向けて、生徒の個性や主体性を尊重した教育活動の充実を図る。</li> <li>○複雑化・深刻化する生徒をめぐる課題については、校内コーディネーターを中心としてSCや特別支援教育支援員及び外部の専門家と連携しながら、チームで対応する。</li> </ul> <p><b>【環境衛生】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常の清掃活動、毎月実施する環境衛生点検を通じて、校内環境の美化・衛生に努め、環境衛生への意識の向上を図る。</li> </ul> <p><b>【学校安全】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○防災訓練等、防災に関して自ら考え行動する機会を提供し、防災意識の高揚を図る。</li> </ul> <p><b>【進路指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校内ガイダンスや上級学校見学、校内説明会等、進路について考える機会をより多く設け、主体的に進路選択をできる生徒を育成する。</li> </ul> <p><b>【業務改善】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT、外部人材の活用、業務の平準化により、業務の効率化に取り組む。</li> </ul>

4 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通した「キャリア教育」推進の視点で、教科・分掌・年次間の連携を強化する。</li> <li>○生徒の主体性を育む教育活動の充実を図る。</li> </ul>

5 自己評価					6 学校関係者評価	
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等 評価
学習活動	わかる授業の実践を通して、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす学習指導を行う。	スタディサプリやICT機器の活用など生徒一人ひとりの実態に応じた学習指導を充実させることにより確かな学力を身に付けさせる。	学校評価アンケートの「本校は、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす学習指導を行っている。」という問いに対する肯定的な回答が、 4: 80%以上 3: 60%以上 2: 40%以上 1: 40%未満	4	・学校評価アンケートの結果から、「本校は、生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばす学習指導を行っている。」という問いに対して、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒は83%であった。一方で、「そう思わない」と回答した生徒が4%であった。 ・スタディサプリやICT機器を活用しながら、目の前の生徒一人ひとりに対応する時間を捻出することで、個性や能力を更に伸ばす指導に引き続き取り組んでいきたい。	生徒一人ひとりの個性が自由に表現できている。校風が素晴らしい。 生徒一人ひとりが個性や能力を伸ばすことができた実感していることは評価できる。 「そう思わない」4%の生徒が不満。原因は？ アンケートの結果の判断。
	「学びと成長」のストーリーを、生徒それぞれが描くことができるように、地域との連携を含めてキャリア教育を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各取組の目的を明確にし、取り組み間や地域とのつながりを意識して立案し、連携して実施する。</li> <li>・生徒も教員もICTを活用しながら振り返りを行い、成長と課題の確認につなげる。</li> </ul>	4: 全取組の9割以上について明確な目標をもとに立案・連携して実施し、効果的な振り返りができた。 3: 全取組の7割程度について明確な目標をもとに立案・連携して実施し、効果的な振り返りができた。 2: 全取組のおよそ半数について明確な目標をもとに立案・連携して実施し、効果的な振り返りができた。 1: 明確な目標をもとに立案・連携して実施し、効果的な振り返りができたのが、全取組の半数未満であった。	4	・1年次の「産業社会と人間」では、新しい職場体験学習先を開拓したり、2年次の「Wise Person21」ではInstagramを活用し情報を発信したりと新たな取り組みがなされた。3年次の「課題研究」においても、明確な目標の下それぞれの論題について研究がなされた。どの年次においても、地域とより良い連携が図れるようにしていきたい。	どの年次でも地域との連携を図りキャリア発達ができていることが評価できる。 1年次での職場体験からの2年次の情報発信。そして3年次の研究発表と充実しているといえると思う。
特別活動	生徒が一人一役を担う特別活動により、主体性を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各活動の目的を明確にして、計画・立案する。</li> <li>・「話し合い」を充実させ、生徒それぞれの意見を取り入れた行事を実施する。</li> <li>・「振り返り」においては、具体的意見や根拠に基づいた意見を求める。</li> <li>・「振り返り」で求めた意見を、次の活動へ「活用」する。</li> </ul>	4: 全活動の9割以上について明確な目標をもとに立案し、「話し合い」や「振り返り」、次の活動への「活用」が充実したものになった。 3: 全活動の7割以上について明確な目標をもとに立案し、「話し合い」や「振り返り」、次の活動への「活用」が充実したものになった。 2: 全活動のおよそ半数について明確な目標をもとに立案し、「話し合い」や「振り返り」、次の活動への「活用」ができた。 1: 明確な目標をもとに立案し、「話し合い」や「振り返り」、次の活動への「活用」ができた活動が、全活動の半数未満であった。	3	・総合祭については、今年度の反省を生かし、早めに計画・立案し、生徒がさらに主体的に取り組むことができるようにしているところである。	高校生らしいイキイキとした総合祭ができていると思う。 主体的に取り組むためには、話し合い協働することも大切だと思う。その辺りはどうか。 役員のお手伝い、今年はない。来年度は検討(体育祭・総合祭) 総合祭は前日に見させてもらいゆっくり回ることができた。頑張っていたと思う。
学校運営	保護者・地域の信頼と期待を高め、誇りがもてる学校にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や地域社会に対して積極的に情報発信する。</li> </ul> 【目標値】 ホームページアクセス回数 5,000人/1ヶ月当たり ホームページ更新回数 100回(年間)	4: ホームページのアクセス数とホームページの更新回数が目標値に達した 3: ホームページのアクセス数とホームページの更新回数が目標値の8割以上 2: ホームページのアクセス数とホームページの更新回数が目標値の6割以上 1: ホームページのアクセス数とホームページの更新回数が目標値の半分	4	12月現在 ホームページアクセス人数86,988(昨年同時期135,146)。月平均9,665(昨年同時期13,500)。 ホームページ更新回数73(昨年74) 閲覧数は昨年度は冬の時期に倍増したが、本年度は目標の月5,000人を達成し、年間を通して安定して高い水準を維持している。引き続き積極的な情報発信に努めたい。	年間を通して安定したアクセスがあることはとても評価できる。 私自身がほとんどホームページにアクセスしていない事を反省。 SNSなど動画媒体の活用の検討をしては？ webからSNSの時代の変化。

